

郵趣MYコレクション展2026 応募要項

郵趣では、仲間内でコレクションを見せ合うだけでなく、展示物として「リーフ」と呼ばれる展示用紙に郵便切手類を展示し、説明文を記したものを「作品」として、「切手展」と呼ばれる展覧会で展示する習慣があります。

そして、郵便切手類以外の材料(例えばコインや紙幣)と組み合わせて展示することもあり、モノを集める趣味の中でも独創性や自由度が高い趣味です。

そこで、リーフを用いた作品を通じて、多くの方々に郵趣の深さと広がり、独創性といった、様々な楽しみ方を広く共有する場として、本切手展を開催し作品を公募します。

本切手展は、コレクションの興味関心の対象が主に郵便切手類である「郵便切手部門」、自由な発想で作られた作品を対象とした「フリースタイル部門」の2部門構成です。自分だけのこだわりの「MYコレクション」をご出品ください。

1. 実施

会期：2026年4月10日(金)～4月12日(日)

会場：東京都立産業貿易センター・台東館 5階(東京都台東区花川戸2-6-5)

2. 応募部門・展示物

応募部門は郵便切手部門と、フリースタイル部門の2部門です。

(1) 郵便切手部門

郵便切手部門は、1～8つの展示フレーム(縦119cm×横89cm)に郵便切手類(印紙、官製はがき、絵はがきを含む)を主体として構成した作品の部門です(ただし、市販の「図入りリーフ」に整理したコレクションは除くものとします)。

一定の採点基準に基づくコンクール形式での「競争切手展」(全国切手展JAPEXなど)では、1作品に展示できる郵便切手類の種別などの制約により、独創的なアイデアがあったり、展示意欲があったりしても出品をためらうケースがありました。

一方、本切手展は「非競争切手展」であり、自由な発想で出品できます。例えば「同時代に発行された切手やはがきを1つにまとめた作品」、「特定の切手やはがきの使用例だけをまとめた作品」、「特定の切手に押印された消印(満月消)だけをまとめた作品」、「収集は不十分だが参観者の反応を聞いてみたいので、まとめた作品」など、多様な目的でのご出品を歓迎します。競争切手展に出品して実績のある作品を、「切手愛好家以外も含めて多数の来場があるSTAMP-SHOW会場に展示したい」などの動機で出品することも歓迎致します。

カテゴリー

郵便切手部門では参観者の便宜のために、出品者に以下の4カテゴリーの中から1つを選択

していただきます。

- A)・伝統郵趣（印紙、官製はがき／封筒類(ステーションナリー)を含みます)
- B)・郵便史
 - ・郵便印
 - ・航空郵趣
- C)・テーマティック郵趣
 - ・トピカル郵趣
 - ・オープン郵趣（郵便切手類主体ですが、他の材料も交えた作品）
- D)・FDC（切手に関連する図案を描いた封筒に切手を貼り発行日の消印を押印したもの）
 - ・マキシマムカード（切手に関連する図案を描いた絵はがきに切手を貼り発行日の消印を押印したもの）
 - ・絵はがき（官製はがきを除く、民間で印刷された絵はがき）

(2) フリースタイル部門

フリースタイル部門は、1～8つの展示フレーム(縦119cm×横89cm)に郵便切手類を含む多様な材料を使用して、自由な発想のもとに構成した作品の部門です(ただし、市販の「図入りリーフ」に整理したコレクションは除くものとします)。

テーマは自由で、郵便切手類とそれ以外の平面物を組み合わせて展示した作品や、郵便切手類を用いたアート作品(郵便切手類を用いた貼り絵など)であれば、出品することができます。

例えば、郵便切手類以外のコインや紙幣を主として、郵便切手類をサブとして展示した作品も歓迎いたします。

3. 出品規定

(1)応募資格

日本国在住者であれば、年齢、国籍を問わず誰でも応募することができます。

(2)応募制限

応募は1人各部門2作品までです。グループによる応募も可能です。

(3)展示用紙

①標準リーフ A4縦または横23cm×縦29cm 1フレーム当り最大16枚

②ダブルリーフ A3横または横46cm×縦29cm 1フレーム当り最大8枚

③ワイドリーフ 横31cm×縦29cm 1フレーム当り最大12枚

・厚さ0.5cm以下（ただし下辺1cm以内は厚さ0.1cm以下）

・展示用紙の色、展示用紙のサイズの組み合わせは問いませんが、大型サイズの展示用紙を用いる場合には展示に耐えられるような厚手の用紙を用いてください。

(4)タイトルリーフと目次

参観者の便宜のため、1ページ目のリーフには、少なくとも作品のタイトルと目次を記載してください。目次は本における目次と同様に、作品におけるひとまとまりの内容ごと

に見出しと該当ページを書いたものです、これを郵趣では「プラン」と呼びます。また、2ページ目以降はリーフの上部に目次と対応した見出しを記載しておく、と、参観者が作品の内容を目次からたどりやすいです。

(5)展示番号

展示用紙の表面の左下部には、展示順を示す通し番号を明記ください。

(6)保護ラップ

展示材料は脱落しないように展示用紙にしっかりと貼り付け、展示用紙は透明な保護ラップ(カバー)等で覆ってください。

(7)展示できない応募作品

公序良俗に反する応募作品、規定外の実応募作品及び実応募作品の内容が適当でないと判断した場合には、主催者は展示を取りやめることがあります。

(8)実応募の受理

会場面積の都合上、全体として展示可能な出品フレーム数の上限に達した場合は、実応募をお断りさせて頂く場合があります。原則として申込日の先着順で受付いたします。ただし、複数作品をご出品の場合、先着順にかかわらず一部作品のみの受理となる場合があります。また、出品申込書の記載と異なる部門での展示となる場合があります。いずれの場合も不受理・部門変更に関する理由については、お答えいたしかねます。不受理・部門変更の場合、受付締め切り日以後のご連絡となる場合がありますことをご海容下さい。

4. 出品料

(1)出品料の納付

出品料は2部門共通で1フレームあたり6,000円(公益財団法人日本郵趣協会の維持会員・正会員：4,000円、普通会員：5,000円)です。出品申込時にお支払い下さい。

納付方法は、現金書留、郵便振替(口座番号：00160-6-3700／加入者名：公益財団法人日本郵趣協会)、コミュニティ通貨「フィラ」、または実応募先へ直接ご持参ください。

(2)出品料の返却

- ①主催者の判断により、実応募作品の受理が取り消された場合には、出品料を全額返却します。
- ②出品者が出品申込の期限内に文書により出品申込を取り消した場合には、出品料の半額を返却します。
- ③出品者が出品申込の期限を過ぎて出品申込を取り消した場合には、いかなる場合にも出品料は返却されません。

5. 実応募申込

(1)出品申込

①期 間：2026年2月3日(火)～2月21日(土) [必着]

②方 法：作品実応募にあたり、出品申込が必要です。所定の出品申込書に必要事項をご記入の上、出品料を添えてお申し込みください。出品申込書及び出品料を受領しますと、

主催者事務局は「出品受付書」と「出品用封筒(A4サイズ用)」をお送りします。また、パソコン上で直接入力できる出品申込書(PDF入力フォーム)をSTAMP-SHOW2026ホームページに掲載していますので、ぜひご利用ください。

(2)作品搬入

①期 間：2026年2月24日(火)～3月7日(土) [必着]

②方 法：応募作品は、出品用封筒の表面に必要事項をご記入の上、出品用封筒に入れ、郵送、宅配便、または応募先へ直接ご持参ください。標準リーフ(A4縦サイズまたは横23cm×縦29cm)以外の大型サイズの展示用紙を用いた応募作品をお送りいただく場合には、フラットタイプの図面ケース(A3サイズ、A2サイズ)等をご利用いただくと便利です。応募作品を受領しますと、主催者事務局は「保管証」を発行します。

6. フィードバック

本切手展は非競争切手展ですが選考委員により特別賞を授与します。また、選考委員からは全作品に出品者の奨励のためコメントをご提供いたします。

(1)部門別グランプリ（郵便切手部門グランプリ、フリースタイル部門グランプリ）

各部門作品の中から本切手展の目的と趣旨に最もふさわしい応募作品1点ずつに、グランプリ(日本郵便株式会社提供。賞状とトロフィー)を授与します。

(2)特別賞（郵便切手部門、フリースタイル部門の対象作品）

本切手展の目的と趣旨にふさわしい応募作品に、特別賞(賞状)を授与します。

(3)選考委員の奨励コメント

選考委員1名からの奨励コメントをメールアドレス宛にお送りします(メールアドレスをお持ちでない方は出品物の返送時にペーパーで同封いたします)。

7. 保 険

応募作品の保険は、応募者自らの責任と負担において行ってください。

8. 作品返却

(1)応募作品は展覧会終了後、速やかにご返却します。なお、特別な応募作品につきましては、写真撮影終了後となります。

(2)応募作品の返却方法はゆうパック(料金着払い)、主催者事務局受取があります。出品申込書で選択ください。

9. 写真撮影

主催者は、郵便切手文化の普及資料とするために、応募作品の写真撮影または複写を行い、月刊誌『郵趣』などの刊行物、ウェブサイト、SNSなどへの掲載のために使用することがあります。なお、郵便切手文化の普及を目的として、主催者・参観者を問わず展示会場における応募作品の撮影やSNSでの情報発信は可能となっております。

10. 個人情報

個人情報は、郵便切手文化イベントのご案内、本コンテストの運営に必要な範囲のみで利用します。応募作品を発表する際には、作品タイトル、出品者名をホームページ等で公開することがあります。

【応募先・お問合せ先】

〒171-0031 豊島区目白1-4-23 切手の博物館4階

公益財団法人日本郵趣協会

「STAMP-SHOW委員会」(事務局：原口・寺尾・小川)

電話：03-5951-3311 (代) FAX:03-5951-3315

受付時間／10:00～17:00 (日・月・祝日を除く)

Eメール：info@yushu.or.jp

STAMP-SHOW2026公式ホームページ http://yushu.or.jp/event/s_show2026/
--

よくある質問

質問1

郵便切手部門のカテゴリーの設定は、競争切手展の設定と何が違いますか？

郵便切手部門の各カテゴリーは、出品者の皆様の解釈で設定頂くものとなっております。競争切手展(全国切手展JAPEXなど)におけるクラス(部門)の定義を参照するのも、ひとつの方法ですが、独創的な作品で、その枠に収まらない場合は、ご自身の解釈で設定ください。また、それでもお困りの場合は、出品コンサルティングなどをご利用頂き、ご相談ください。

質問2

郵便切手類と、それ以外が混在した1フレーム作品は、郵便切手部門のカテゴリー「オープン郵趣」にも、フリースタイル部門にも展示できそうですが、両者の違いは何ですか？

郵便切手類を主体とした作品は郵便切手部門のカテゴリー「オープン郵趣」、そうでない場合は「フリースタイル部門」にご出品下さい。作品の展示物の中で何が主体かについては、作品を概観したときの第一印象など、ご自身の解釈で設定ください。また、それでもお困りの場合は、出品コンサルティングなどをご利用頂き、ご相談ください。

質問3

2つの部門でそれぞれ特別賞の受賞を目指したいのですが、選考基準はありますか？

郵便切手部門は独創性があり、かつ、その意図が理解しやすい作品、フリースタイル部門は切手愛好家以外を含む多くの方の興味関心を引き付ける作品が念頭にあります。

また、本切手展の主旨は、郵趣の楽しみ方を(切手愛好家以外を含む)幅広い方々に共有し、共感頂くことにあります。したがって、内容の理解しやすさや作品への共感につながるデザインまたはアートとしての秀逸性も観点です。これらの観点を中心として選考委員の解釈により、選考するものです。

ただし改めてお伝えしますと、非競争切手展ですので、出品者の皆さんが特別賞の受賞を目指すことのみを奨励するものではありません。

質問4

選考委員からのコメントには、どのようなことが記されますか？

本切手展は、郵趣の深さと広がり、独創性といった、様々な楽しみ方を広く共有することがコンセプトとなっております。したがって、その活動を担う出品者の奨励に関する内容となります。